

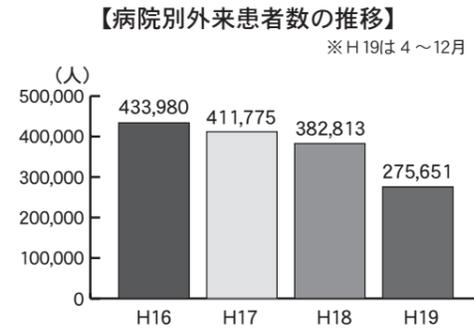
# 平成19年度 園芸産地拡大事業(3次募集)について

園芸作物の産地形成を目指し、農業者などが行う条件整備および生産資材の購入経費に対し助成します。

**【事業対象者】** 市内の農業者、農業生産組織および農業者団体

**【対象事業】** 3月まで完了予定の下記事業

事業名	要件・必要書類	補助率	補助限度額
①園芸用ハウス整備事業 (付帯設備含む)	・ハウスの面積は30坪以上であること ・ハウスの年間の利用期間がおおむね6カ月以上あること ・対象事業費は1坪当たり1万円までとする ・申請書、収支予算書、実施計画書、設計図、設置場所の位置図、見積書(2社以上)、新規就農者は新規就農計画の写し	20%以内 (新規就農者※1 30%以内)	90万円
②園芸用機械整備事業 (防除機械、管理機、定植機、収穫機、選別機、包装機、結束機、根菜類洗浄機、暖房機、予冷庫、その他園芸専用機械)	・30万円以上の機械の導入であること ・申請書、収支予算書、実施計画書、見積書(2社以上)、カタログ類、位置図、新規就農者は新規就農計画の写し	20%以内 (新規就農者※1 30%以内)	60万円
③環境保全資材整備事業 (生分解性マルチ、防虫ネット)	・事業実施面積は、施設栽培30坪以上、露地栽培500㎡以上であること ・申請書、収支予算書、実施計画書、平面図、見積書、カタログ類	20%以内	20万円
④園芸産地定着化事業 (水田に園芸作物を作付けするための客土)	・事業実施面積は、施設栽培30坪以上、露地栽培500㎡以上であること ・客土厚は10cm以上であること ・前年度まで水稲の作付けがあったほ場であること ・申請書、収支予算書、実施計画書、平面図、見積書(2社以上)、カタログ類		
⑤園芸生産者確保対策事業 (新規に取り組む園芸振興品目※2の種苗購入費)	・これまで、対象となる品目の出荷および販売を行っていないこと ・この種苗により生産された農作物は、すべて出荷または販売を行うこと ・事業実施面積は、施設栽培30坪以上、露地栽培500㎡以上であること ・申請書、収支予算書、実施計画書、見積書(2社以上)、作付場所の位置図	20%以内	10万円
◆事業要件注意事項	▶①～④は、販売を目的とした園芸作物の生産に要する施設、設備および資材を対象とする。 ▶既存施設・機械の更新および中古施設・機械の購入は対象外とする。 ▶※1は、県による就農計画の認定を受けてから5年以内の農業者とする。 ▶※2は、1日1億円創出事業における野菜、花卉、果樹の重点品目および推進品目(きゅうり、いちご、トマト、なす、そらまめ、ほうれんそう、キャベツ、にら、にんにく、スイートコーン、えだまめ、かぼちゃ、はくさい、ねぎ、たまねぎ、レタス、こまつ菜、つぼみ菜、大根、かぶ、きく、ストック、トルコギキョウ、ばら、シクラメン、りんご、ブルーベリー、おうとう)とする。		
申込期限	3月5日(水)		
申し込み・問い合わせ	▶産業経済部農産園芸課 園芸振興係 ☎0220(34)2713 ▶各総合支所地域生活課 産業建設係		



**Q** (東和町・男性) 病院の規模が大きいと赤字も大きくなる。佐沼病院に医師を集約して赤字が解消できるのか?

**A** 安全・安心の医療提供の確保の観点からすれば経営面と相反しますが、医師を集約して市全体としての医療提供体制を確保することが必要と考えています。

**Q** (米山町・男性) 赤字になっていく原因は? 医師の退職により患者数が減ったことや平成18年度の診療報酬の改定が大きな要因となっています。診療報酬の改定は平均3・16%減でしたが、長期入院患者の多い本市の病院では、10%近い影響を受けています。

**市長メッセージ**

### 市民皆さんの健康を守り、福祉介護の充実へ

病院を取り巻く環境は、全国的な医師不足や大学の医局の医師引き上げなどによる勤務医の過重労働、施設の耐震強度不足など急激に厳しさを増してきました。また、病院経営の赤字は今後ますます増えることが予測され、病院を現状のまま維持して行くことができない状況となっています。

市では、平成18年5月に「登米市地域医療福祉システム検討委員会」を、19年5月には「登米市地域医療福祉体制検討委員会」を設置し、地域医療体制の充実と、病院の抜本的な改善策の検討をお願いし、12月26日に報告書が提出されました。

これを受けて、市として検討を重ねた結果、現在の医療水準を最大限確保しながら「安全・安心の医療提供」「医師の労働環境の改善」「安定した経営基盤の確立」を目指して、市立病院の再編・改革の基本方針を決定しました。

この方針において、無床診療所となる病院の地域の皆さんにはご不便をおかけすることとなりますが、一方において、午後も外来診療ができ、利便性が向上する面もあります。さらに、ほかの病院への当直の応援が可能となり、医師の労働環境改善にもつながります。

また、初期救急を充実させるため、再来年度までには、消防署の出張所すべてに救急車の配備ができるように救急車の数を増やすこととしています。

今後とも地域における医療と福祉、介護の連携を図りながら、医療提供体制を維持して市民皆さんの生活を守っていきたく考えていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

登米市長 布施孝尚

**Q** (中田町・女性) 地方公営企業法の全部適用とは?

**A** 病院の設置者は市長ですが、市長が任命した事業管理者に全体的な経営責任を与え、民間的手法で経営をしていくものです。

**Q** (東和町・男性) 一部の病院を民営化する考えは?

**A** 民間にお願いできる部分があれば、積極的に考えていきたいと思っています。

**Q** (津山町・男性) 産科・小児科の確保は考えていないのか?

**A** 産科・小児科については、一日も早く再開できるように取り組みをさせていたがたいと思います。

**Q** (中田町・女性) 医師確保のためにどんな手立てをしているのか?

**A** 昨年度に医学生などの奨学資金の貸付条例を制定し募集に当たっており、19年度には2人の医学生の応募がありました。今後も引き続き医師確保に向けて取り組みをさせていきたいと思います。

**Q** (登米町・男性) 再編に伴い病院を縮小した場合に、職員数はどうなるのか?

**A** 職員数は現在より減ることになります。退職者の不補充や非常勤職員の削減などを考えています。

**Q** (迫町・男性) 病院の位置付けをどのように考えて再編を検討したのか?

**A** 登米市は開業医の数も少ない地域であり、これまで5病院が地域の医療を支えてきましたが、今後も現

**Q** (登米町・男性) 再編に伴い病院を縮小した場合に、職員数はどうなるのか?

**A** 職員数は現在より減ることになります。退職者の不補充や非常勤職員の削減などを考えています。

**Q** (登米町・男性) 再編に伴い病院を縮小した場合に、職員数はどうなるのか?

**A** 職員数は現在より減ることになります。退職者の不補充や非常勤職員の削減などを考えています。

**【問い合わせ】**  
医療局経営改革推進室  
☎0220(21)5030

在の体制を継続していくのは不可能と判断したところですが、医師の過重労働を軽減しながら、地域医療として行政が担う体制を検討し進めていきます。



# 宝くじ助成でイベント用品を整備

コミュニティ協議会などの7団体が、「平成19年度自治宝くじコミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)」で、祭り用具や各種イベントで活用できる備品などを整備しました。

この事業は、財団法人自治総合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と宝くじの普及広報を目的として実施されています。購入した備品などは次のとおりです。

実施団体名称	購入備品
新田地区コミュニティ推進協議会(迫町)	大判プリンター、会議用机、ページセッター、椅、ガステーブル、ストップウォッチ、ワンタッチテント、得点板、自転車、バレーポール支柱、バレーボールネット、バレーボール支柱カバー
荒町町内会(登米町)	宮太鼓、縮小太鼓、チャンキ、野外テント、三方幕、発電機、物置、カラオケ機器
鉄山町内会(登米町)	祭り半纏、股引き、半纏帯、祭り半纏(子供用)、半纏帯(子供用)、宮太鼓、発電機
寺池地区コミュニティ推進協議会(登米町)	祭り半纏、半纏帯、ポータブルアンプ、スピーカー、スピーカースタンド、ワイヤレスマイク、マイク、マイクコード
後舟橋町内会(登米町)	宮太鼓、しの笛、当り鉦、当り鉦バチ、紅白幕、祭り用ポール、祭り用ポール台、発電機、灯台器、ワンタッチテント
宝江コミュニティ運営協議会(中田町)	業務用クリーナー、大判プリンター機器一式、デジタルカメラ、テント、会議用テーブル、ピンスポット機器一式、物置、紅白幕、電動わた菓子機、電動かき氷機
浅水コミュニティ運営協議会(中田町)	ゴールテープ、万国旗、リレーバトン、ムカデ競技用ロープ、紅白玉入台、紅白玉、エアゲート、棒担架、担架格納箱、集会用テント、物置、長机、パイプ椅子、大判プリンター機器一式、グラウンドゴルフ用品一式、ファインボール用品一式